

地域ごとのまちづくり計画 (高司小学校区まちづくり協議会)



令和 2 年(2020 年)3 月

目次

【はじめに】.....	2
【現状と課題】.....	2
まち 【地域の将来像】.....	6
【基本目標】.....	6
【具体的な取り組み】.....	8
1. みんなで交流ふるさとづくり	8
2. 笑顔ひろがる集いの場	8
3. エコ・ガーデン・クリーンな環境づくり	9
4. 安心と信頼でつながるまちづくり	9
5. 非常に助け合えるまちづくり	10
6. 地域はひとつ、つながりあえるなかまづくり	10
【あとがき】.....	11
【資料】.....	11

【はじめに】

十数年前「まちづくりは人づくり」の言葉と共に感し、便利で快適な住環境であったとしても人のつながりが貧しければ「豊かさ」はどのレベルになるのだろう…と考えさせられました。

2019年本格的にまちづくり計画の見直し作業を取り組むにあたり「人」を重視した内容を意識することに努めました。この地域で住み続けたい！と思える地域にしたい。心かよわせる友がいて、出会えばつい立ち話をしてしまう。あの場所へ行けば誰かがいる。これに参加すれば友達が増える。

人の心の豊かさが表れる地域にするために今あるものの点検と整理、継続と終了。新規に加える事柄は実際的か、必要度や資源は可能か。住民のニーズを捉えているか。アンケート実施は万全とは言えないが過去の資料と照らし合わせて見てくるものもあり、検討委員の意見交流を重ね、5ヶ年計画の方向性を打ち出しました。まちづくりは一人ひとりの地域愛が土台となります。今後のまちづくりにより多くのみなさんの参加と力を頂けることを期待し大きな輪になってゆけることを望みます。

【現状と課題】

① 人口

高司小学校区の人口は、2014年は6,464名、2019年には6,422名です。世帯数についても、2,920世帯から3,014世帯とほぼ横ばいの状況ですが、徐々に高齢化が進んでいます。

子どもも多少の増減はありますが、ほぼ横ばい。高齢者は増えていますが、市内の平均とほぼ同等です。年少人口は市の平均より若干少ない程度です。また、外国人の方が多く住んでいる地域もあります。

② 周辺環境

道路に囲まれた地域ですが、スポーツ施設として高司グランドがあり、土曜・日曜日は少年野球大会やサッカーなどに利用されます。また、高司小学校に隣接する形で高司児童館があり、多くの子どもたちに利用されています。一方で図書館や公民館は立地しておらず、地域住民が気軽に集える公共施設が求められています。スーパーなども立地して比較的利便性の高いまちといえますが、高齢者が徒歩で移動する場合には不便な面もあります。

③ 道路・交通

地域内は、道路の整備が行き届いておらず、ガタガタしているところや、地域内の水路に柵がないため危険と思われる場所、道路幅が狭いため事故の可能性がある場所がいくつか存在しています。

また、高司地区は既存駅、バス停から相当の距離が離れている「市が積極的に関与して公共交通サービスの充実を図る」地区に位置付けられており、移動手段の確保も課題です。

④ 災害

高司地区は、武庫川沿いに立地した地域であるため、豪雨災害が発生した時には非常に大きな影響を受ける地域の一つです。地域内に水路も多いため、大雨などの際には、内水氾濫なども想定されています。また、水害時には高司小学校が避難所指定されないなど、避難所についての課題があります。地域全体として、防災意識を高める訓練が引き続き必要な状況です。

⑤ 拠点施設整備

現在のコミュニティ室は、内鍵のみで学校が休みの場合利用することができません。また水回りなどもないため、活動が制限されています。独立した拠点スペースが求められています。

⑥ 小学校・PTAとの連携

「夏休み宿題やろう会」の実施、「高小まつり」への協力など、小学校やPTAと積極的に関わり取り組むことで、子どもとまち協の双方が顔の見える関係を作ることができるのは、まちの特色ともいえます。しかしながら近年の夏の猛暑から、学校の教室を使っての「宿題やろう会」の実施が中止となりました。また、あらたな学校と地域との仕組みとなる「コミュニティスクール」についても検討が必要です。

⑦ コミュニティ

自治会によっては、様々な活動に取り組んでいますが、自治会加入率が低く、地域内には自治会のない地域もあります。また、まち協自体の活動についての理解されていない部分も多くあります。

自治会加入世帯数・加入率

■自治会加入世帯数：951 世帯

名 称	加入世帯数	名 称	加入世帯数
くすのき自治会	162	宝清自治会	20
高司自治会	422	美幸町自治会	102
ファミリープラザ宝塚自治会	124	ルナ宝塚仁川自治会	121

注：市に届出がある自治会の世帯数 2019年6月1日現在

■自治会加入率：31.37% 参考：全市平均：54.20%

注：上記表中の世帯数は、市統計資料の住民基本台帳集計に基づき算出。

まち協自治会加入率＝市に届出があるまち協エリアの自治会の世帯数／世帯数（2019年3月末日現在）

※全市平均は、市統計資料の推計人口、世帯数に基づき算出（2019年6月1日現在）

(8) 課題に関する地域の声

分 野	アンケートの回答	課 題
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・人々との交流の場が多く設けられている ・協力的な人々に支えられないと実感している ・イベント等の継続への希望が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足（若い世代） ・無関心層が多い
福祉・青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ・高司児童館があるのが良い ・子ども食堂のような食事や宿題ができる場所が欲しい（小学生） ・戸建・マンション間の人の交流が少ない ・40～60代は仕事優先なので、ドーナツ現象になっている ・子育て支援の活動は続けて欲しい ・ご近所の協力、助け合いが薄い（関わりが面倒、仕事する人増） ・自治会に加入者が少なく一人暮らしの方が心配 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩けない人のための場所づくり ・一人暮らしの高齢者の見守り ・中学生との交流 ・会社をリタイヤした男性の地域デビューの機会 ・デイサービスを利用するとサロンに行きにくくなる傾向がある ・デイサービスを利用できない方の受け皿となる場（サロンよりも長時間の滞在が可能な場） ・高司会館の使い勝手がより良くなれば良い
美化・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・学校前の排水溝の清掃など誰が担うべきかが不透明な箇所がある ・公園が汚い ・学校の周りにタバコのポイ捨てが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り捨て自転車や吸い殻、空き缶等のポイ捨てがある
防犯・見守り・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の防犯パトロールがあったら良い ・自転車や車の往来が多く、危険箇所が多くある ・自転車の運転マナー講習を実施して欲しい ・タクシー乗り場がない ・生活道路の道が悪くお年寄りや幼児の足場も悪く、押し車が引きづらい道は直してほしい ・車道・歩道、自転車道の整備を進めていただきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所が存在している ・男性の見守り活動への参加 ・校区が狭く、商業施設や子ども施設が校区外にあるため、まち協として、子ども達が校区外へ出していくことを把握するのは困難 ・定期的なパトロールでは防げないものもある ・夜間に暗くて危険な場所がある。（一部自治会にて市と協議中） ・自転車マナー（電動自転車等）が悪い ・横断歩道もしくは信号の設置希望箇所がある

分 野	アンケートの回答	課 題
防 災	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校、2ヶ所の広い空間が有るのは心強い ・水害時の避難場所が少ない ・避難するかどうかの判断が難しい ・避難訓練に参加する人が少ない ・台風の際に避難する人が増えてきたのは良いこと ・テレビの情報が中心で武庫川の水位が気になることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会がない地域への周知・啓発 ・要援護者支援制度の登録 ・豪雨災害時の避難ルート（垂直避難が必要） ・避難場所の確保 ・防災拠点となる場所が必要 ・防災訓練へ参加（若者・子どもが少ない） ・体育館で実際の避難者を全員収容できるのか ・地域の介護事業所、民間企業の参加が少ない（防災訓練） ・防災意識の格差をどのように解消するか ・災害対策基本法の改正への対応（地域の役割が重くなる）
活動拠点		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校コミュニティ室は学校が空いていないと利用できない（外から鍵の解錠ができない） ・水回りなどがないため、できることが限られてしまう
人材育成		<ul style="list-style-type: none"> ・役員の負担が大きい為、自治会や役員がなくても高小校区を運営していけるようになりたい ・世代を超えたつながりの上に成り立つ活動

【地域の将来像】

「好きです わがまち 高小校区 つながりあえる まちづくり」

【基本目標】

1. みんなで交流ふるさとづくり(文化・交流分野)

地域交流を目的としたこれまでの活動を継続しながら、さらにより多くの地域の人たちがつながるきっかけづくりや、運営面への関心を高める工夫を行います。また、交通安全など、地域の抱える課題について知ってもらう機会とするなど、イベントの機会をより効果的に活用できるように工夫していきます。

(1) 世代間交流イベントの実施

(2) 小学校・PTA のイベントへの協力



2. 笑顔ひろがる集いの場(福祉・交流分野)

交流（あいさつし合うご近所関係）からもう一歩進んだ関係づくりには、お互いを知り合うことが不可欠です。地域の一員として支え合う人の輪を作っていくためにも、独り住まいの高齢者の方や障がい者、外国人への意識的な参加の呼びかけ、子育て世代の方々、子どもたちが遊んだり、学んだりする機会など、様々な場を設けて関わり合いを深めていく取り組みを進めていきます。

(1) サロンの運営・支援・情報交換

(2) ふれあいの場の提供

(3) 健康づくりの場の提供

(4) 子育て支援と子どもの居場所づくり



3. エコ・ガーデン・クリーンな環境づくり(美化・環境分野)

清掃活動や花壇の管理など、地域内の環境を整えることで清潔感のある地域を目指します。また、それぞれの活動を継続させていくために、小・中学校等との連携についても検討していきます。

(1) 美化活動の推進

(2) 花と緑の活動の拡大



4. 安心と信頼でつながるまちづくり(見守り・防犯・交通)

地域の交通安全や防犯意識を高めるための活動に、さまざまな世代の人に取り組んでもらえるような場づくりを工夫します。また、交通・道路など市との折衝が必要な事項については、定期的に協議を行います。

- (1) 地域全体で防犯意識の向上
- (2) 交通安全の意識の向上
- (3) 安全な道づくり
- (4) 移動手段の確保



5. 非常に助け合えるまちづくり(防災)

自治会が存在しない地域において、自主防災会の立ち上げ支援を行い、災害時の体制を整えていきます。また、地区の防災訓練で実際の災害を想定した行動の確認や、平時から情報共有を密にしておく取り組みを進めていきます。

- (1) 自主防災会の拡大と啓発活動
- (2) 災害への備えの強化
- (3) 高小緊急避難連絡会の拡充



6. 地域はひとつ、つながりあえるなかまづくり(人材育成)

「まち協」は地域のつなぎ役となり、組織同士のつながりを深めていくため、情報共有の機会や組織連携での取り組みを進めます。また、地域活動のプラットフォームとなる利用しやすい拠点施設について検討します。

- (1) まち協への理解を深める
- (2) 組織同士のつながりを深める
- (3) 拠点施設の整備



高司小学校区
まちづくり協議会
ブログ更新中！

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継 続	新 規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
		20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年						
1. みんなで交流 ふるさとづくり (文化・交流分野)	(1) 世代間交流イベントの実施												
	ア 文化祭の実施	○						→		○			
	イ スポーツ大会の実施	○						→		○			
	ウ 地域のミニ運動会の実施	○						→		○			
	(2) 小学校・PTAのイベントへの協力												
	ア 高小祭りへの協力	○						→		○			
	イ 学校行事への協力	○						→		○			
2. 笑顔ひろがる 集いの場 (福祉・交流分野)	(1) サロンの運営・支援・情報交換												
	ア 地域内サロンの支援と情報交換	○						→		○			
	(2) ふれあいの場の提供												
	イ 趣味の集いなどの場の支援	○						→		○			
	ウ 食事付き交流会等の開催	○						→		○			
	(3) 健康づくりの場の提供												
	ア 健康セミナーの開催	○						→		○			
	イ 健康体操等の実施	○						→		○			
	(4) 子育て支援と子どもの居場所づくり												
	ア 子育て支援「親子体験プログラム」	○						→		○			

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考		
				20年	第6次総計					①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政		
3. エコ・ガーデン・クリーンな環境づくり (美化・環境分野)	(1) 美化活動の推進		ア 定期的な清掃の実施 イ クリーン作戦の実施 ウ 活動の周知と協力体制の検討		○	○	○	○	○	○	○	○	○	協力の呼びかけ	
	(2) 花と緑の活動の拡大			ア 地域の花壇の管理 イ 小中学校と連携した活動の検討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	小中学校との話し合いからはじめる	
	(1) 地域全体で防犯意識の向上		ア 児童の下校時見守り活動 イ 高齢者向けの防犯セミナーの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	協力者を増やす	
	(2) 交通安全の意識の向上			ア 高齢者向け交通安全講習の実施 イ 自転車マナー教室の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4. 安心と信頼でつながるまちづくり (見守り・防犯・交通)	(3) 安全な道づくり		ア 道路・水路など地域の危険箇所の把握、改善策の市との協議 イ 道路のバリアフリー化の要望箇所の調査 ウ 高司1丁目交差点の歩行者信号の時間の調整を要望 エ 小学校北側道路への駐車取り締まりの要望	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各団体が巡回時にチェック、自治会でまとめて要望	
	(4) 移動手段の確保			ア 公共交通バス運行の利便性の検討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自治会中心に検討会立上げ	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				20年	第6次総計				①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政	
					21年	22年	23年	24年					
5. 非常に助けるまちづくり (防災)	(1) 自主防災会の拡大と啓発活動												
	ア 自治会のない地域での自主防災会の立ち上げ支援	○							→		○		
	イ 自主防災会対象の研修等の実施	○							→		○		
	ウ 災害時要援護者に関する情報把握	○							→		○		
	エ 自治会・事業所・学校・市との課題の協議	○							→		○		
	(2) 災害への備えの強化												
	ア 防災訓練の内容強化と継続	○							→		○		
	イ 住民に対する啓発活動		○						→		○		
	ウ 水害発生時の避難に関する協議 (マニュアルづくり)		○						→		○		
	(3) 高小緊急避難連絡会の拡充												
	ア 高小緊急避難連絡会の拡充	○							→		○		
6. 地域はひとつ、つながりあえるなかまづくり (人材育成)	(1) まち協への理解を深める												
	ア ふれあい新聞の発行	○							→		○		
	(2) 組織同士のつながりを深める												
	ア ネットワーク会議などで地域の課題の共有	○							→		○		
	イ 高司児童館との連携活動	○							→		○		
	(3) 拠点施設の整備												
	ア まち協が自由に活用できる独立した施設の整備		○						→		○		
	イ 防災備蓄品などの収納場所の確保		○						→		○		

【あとがき】

まちづくり見直し計画に御尽力頂いた皆様方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。引き続き、計画の遂行にもかわらずご協力頂けますようお願い致します。

新まちづくり計画見直し検討委員とご協力いただいた方々

平石美佐子 平井みどり 川島 昭 信崎啓子 久米 守 盛田文治 盛田元子 山脇文子 岸本栄子 木本美好 牟礼絹恵 黒木廣久 福井孝子
西田裕美 石塚よしみ 久川光子 野尻そよ子 津国千恵子、大路勝、前田進

アンケートにご協力いただいた方々

高司小学校 6年生の皆さん（2018年度）、高司中学校生徒会の皆さん（2019年度）

【資料】

高司地区アンケート結果まとめ（別紙）